



絵本の世界

教頭 瀧本 実加

先日、家の中を片づけていたところ、押入れの中から絵本が入った段ボール箱を見つけました。『おおきななご』、『ぐりとぐら』、『からすのパンやさん』、『しろくまちゃんのほっとけーき』…。その多くは、幼少の時に、何度も何度も自分で読んだり、母に読み聞かせてもらっていたりした絵本でした。とくに私が好きだった絵本が、『ぐりとぐら』です。

ふたごののねずみ「ぐり」と「ぐら」。

ふたりが、この世で一番好きなのは、お料理すること、食べること。

今日も大きななごを持って、森の奥へ出かけます。どんぐりやくりを拾った後、道の真ん中に落ちていたのは…大きなたまご！ さあ、何をつくろうか。目玉焼き？卵焼き？

いやいや、食べきれないくらいのかすてらにしよう。【なかがわりえこ：作『ぐりとぐら』（福音館出版）】より



絵本を読み聞かせてもらいながら、“大きなたまご”の登場に驚きつつも、「こんな大きなたまご、見たことないよ。卵は小さいよ。」と言ってみたり、「ぐりとぐら」と一緒になって“大きなたまご”で何をつくろうかと考えたりしていたことが、懐かしく思い出されました。また、“黄色のふわふわのカステラ”を見て、「美味しそう！」「食べたいな。」「家で作ってみたい！」とも思ったものです。

さて、幼稚園や保育所等に相談支援で訪問した際に、先生方が子どもたちとの「絵本の読み聞かせ」の時間を大切にしているのと同じことがあります。「絵本の読み聞かせ」をとおして、絵本に親しむ・楽しむだけでなく、子どもたちの好奇心が刺激されて興味・関心がひろがり、想像力・発想力が高まっていく姿を目にしたり、絵を見て登場人物や物の名前などを覚えたり、せりふを真似ることで“おしゃべり”が上達したりする様子を見ていたことでした。幼稚園や保育所等の先生方は、「絵本の読み聞かせ」の効果も、子どもたちの成長・発達をとおして実感されているようでした。

近頃、幼少期の子どもをもつ保護者の方から、「絵本の読み聞かせは苦手。」「自分が絵本を読むのは好きだけど、読み聞かせは…」といった声を聞くことがあります。保護者の方は、「幼稚園や保育所等の先生方のように、明るく楽しく読まない！」と思い込んでいたり、「親なのだから、子どもに絵本を読み聞かせなければ！」という義務感を感じていたりするなど、それらが「絵本の読み聞かせ」を“苦痛”にさせているのではないかと感じています。



“絵本”は、子どもと保護者の方が一緒に遊ぶ“道具”の一つだと考えます。玩具や遊具で子どもと遊ぶ時と同じように、絵本を読むときも、「親子で一緒に楽しむ」「親子のふれ合いの時間」という感覚で、保護者の方には子どもと“絵本の世界”を楽しんでいただけるとよいのではないかと思います。

～地域支援センター特別支援教育研修会～

8月24日（水）に、本校で地域支援センター特別支援教育研修会が行われました。講師に本校のスクールカウンセラーでもある「ふくしま子どもの心のケアセンター」公認心理師の佐藤則行氏をお招きし、「子ども自身が良いところを見つけたり、感情のコントロールをしたりするための支援について」というテーマで、講演をいただきました。講演では「子ども自身の自己肯定感を高めるためには『good enough（これでよい）』という考え方が大切であること」や「怒りを感じることは当然で問題は不適切に表現することであり、怒りと上手に付き合う方法を知ること」などについて分かりやすくお話をいただきました。今後も、感染症対策を講じながら研修会を実施していきたいと思っております。





早期教育相談「あ・そ・び・ば」



心身の発達が気になる就学前のお子さんを対象とした遊びの広場「あ・そ・び・ば」を6月、7月、10月に実施しました。担当になった先生と一緒に、楽器やシーツブランコなどのそれぞれが好きな遊びをしたり、友達と一緒に歌や絵本の読み聞かせを聞いたりしました。7月には「水遊びをしよう!」ということで、子ども用プールで実際に水に触れたり、ウォーターベットで水の感触を楽しんだりしました。今年度は、あと3回の「あ・そ・び・ば」を予定しています。感染症対策をしながら、楽しい活動を企画しています。ご参加お待ちしております!!



今後のあそびば予定

12/16(金)

1/27(金)

2/17(金)



読書の秋～図書紹介～



地域支援センターよつの葉では、先生方や児童生徒の皆さんに向けて貸し出し用図書をご用意しています。子どもとのかかわりを深める参考になる『車椅子やベットの上でも楽しめる 子どものためのふれあい遊び55』や、吃音への対応を分かりやすくまとめた『吃音・チック・トゥレット症候群』など、様々な種類の図書があります。本校以外の先生方へ貸し出すことができますので、お気軽にお問い合わせください。

【令和4年度 新規購入図書】

1	車椅子やベットの上でも楽しめる 子どものためのふれあい遊び55
2	家庭と保育園・幼稚園でっておきたい 吃音・チック・トゥレット症候群
3	吃音のある子どもと家族の支援
4	学校における場面緘黙への対応
5	マンガでわかる場面緘黙 どうして声が出ないの？
6	なっちゃんの声(絵本)
7	操作の基礎基本から、現場で使えるオススメアプリまで 特別支援 iPad 活用法
8	学びに凹凸のある子が輝く デジタル時代の教育支援ガイド
9	発達障害の子どもを伸ばすビジョントレーニング
10	学校で困っている子どもへの支援と指導
11	発達障害&グレーゾーン子育てから生まれた 楽々かあさんの「伝わる声かけ変換」



～お知らせ～

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、「学校へ行こう週間」は保護者等に制限して行います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

